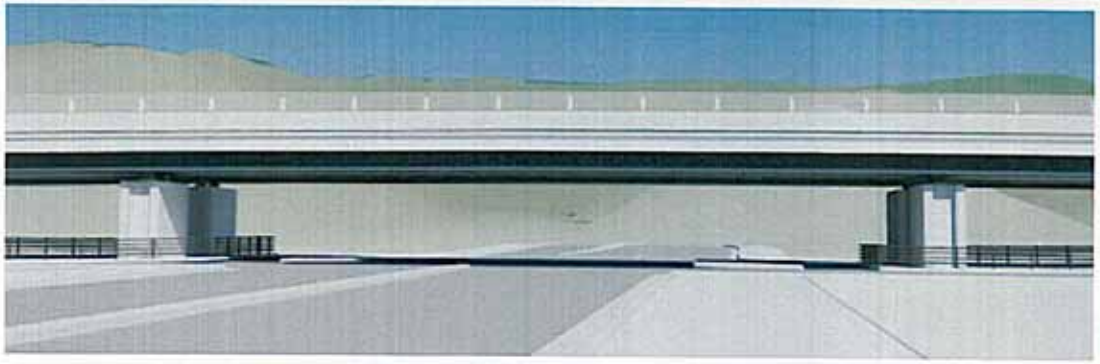
参考－4

第1案　山寺方向を重視したデザイン

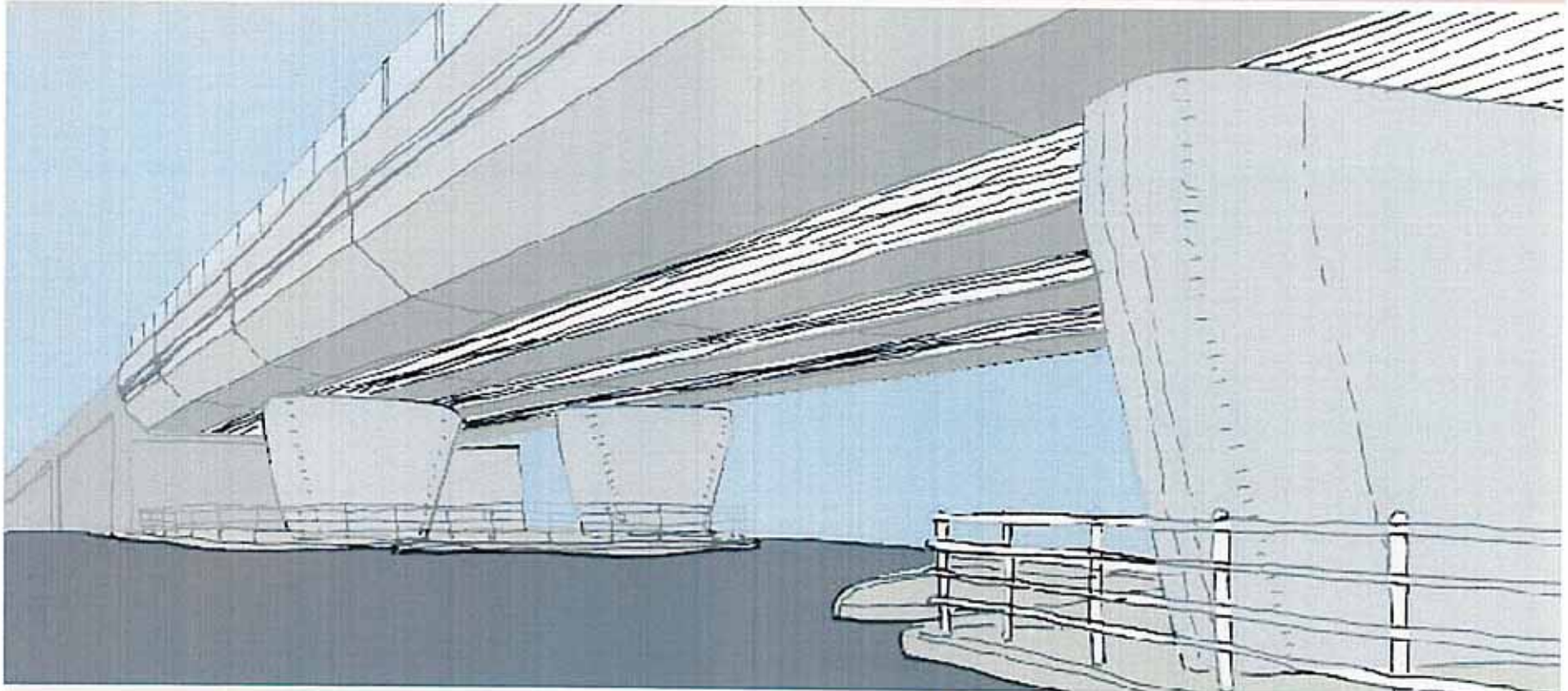




“へこんだ形”を基調に、面に段を付けることで影をつくり、小さい部材が集まってできたような見え方です。桁側面にそった白色系のラインが引き立ち、それを橋脚の2つの細い部材で支えているように見えます。桁裏面のラインも山寺に方向性をとった、山形北の玄関口となる“ゲートイメージ”です。

これらは大野目交差点改良事業の景観アドバイザ　である香川浩氏（建築家）のご助言を踏まえ、複数の比較案より2案に絞りこんだものです。

第2案　国道方向を重視したデザイン





“膨らんだ形”を基調に、桁と橋脚に膨らみを持たせることで、大きなボリューム感を出すような見え方です。桁側面を折ることで光の具合が角度によって変わり、色合いが違って見えます。桁裏面のラインは橋の方向に向かせることで、国道13号の松山高架橋に繋がるような“連続イメージ”です。

これらは大野目交差点改良事業の景観アドバイザ　である香川浩氏（建築家）のご助言を踏まえ、複数の比較案より2案に絞りこんだものです。